



まほろん通信

VOL .20

(平成 18 年 4 月 15 日発行)
(財) 福島県文化振興事業団
福島県文化財センター白河館
〒 961-0835
白河市白坂一里段 86
TEL 0248-21-0700 (代)
FAX 0248-21-1075
URL <http://www.mahoron.fks.ed.jp>



実技講座「^{わきょう}和鏡づくり」

まほろんでは、毎月2回位、募集型の体験メニューとして実技講座を行っています。平成17年度は合計23回を実施し、その内容は土器づくりや土笛・土鈴づくり、埴輪づくりなどの粘土を使ったものから、つり針づくりや竹笛づくりなど、その内容は多岐にわたっています。

その中で、冬場に鑄型を使った実技講座を3回（ガラス勾玉づくり、^{じゅうきやく}獣脚ろうそくづくり、和鏡づくり）実施しました。和鏡づくりは、昨年度の最後を飾る実技講座で、金属を溶かして鑄型に鑄込むといった本格的なものとなりました。鑄型材料には歯科石膏を用いています。型をあらかじめ作り、そこに鶴や桐などの文様から好きなものを選んでもらい、そこに彫りこんでもらいました。低温で溶ける錫の合金を七輪で溶かし鑄型に流し込んでいくと、銀色に輝くりっぱな和鏡が出来てきます。これを鑄型から取り出して、^{かがた}鏡面を磨き込んでいくと顔が映るくらいにピカピカになり、参加者のみなさんにも大変好評でした。

今年度も冬場に鑄型関係の実技講座を予定しています。溶けた金属やガラス・ろうを、自分で作った鑄型に流し込んでの製品づくりに挑戦してみませんか。

鉄づくりイベント報告 その2

前回、炉の構築までをお話しましたが、今回は操業そうぎょうについてお話しします。

最初に、炉内に木炭を入れ、風を送ります。炉が木炭で満杯になるまでに約1時間、その総量は224.4kgも要しました。風を送るのは、踏みふいごと呼ばれる送風装置です。



<製鉄炉に砂鉄を入れる>

1分間の踏み数は当初32回でした。操業開始から2時間半後に砂鉄が投入されましたが、なかなか炉内の温度が上がリません。このため、踏むピッチを早くしました。1分間に40回程度から、60回となったとき(操業開始の6時間後)、ようやく炉内の温度が1,150℃を超えました。この1,150℃という温度は、砂鉄から鉄をつくるには非常に重要な温度であり、この温度より低いと砂鉄中にある鉄分が溶けず、鉄はできません。したがって、鉄づくりでは、炉内温度が1,150℃を超えるように送風量を増やしたり、木炭や砂鉄の投入量をコントロールします。ただ、今回のような人力送風の場合、送風量を増やすことはイコール踏み数を増やすことになります。機械送風であれば、ある程度の送風量の増加は容易ですが、人力となると、そう簡単にはいきません。

1分間の踏み数が70回を超えたあたりから、踏み板(鳴板)の弁が破損し始め、また、ふいごを踏む番子と



<製鉄炉のようす>



<ふいご踏みのようす>

呼ばれる方々の足が疲労し始めました。やがて、回数が90回となり、100回を超えた時点で、弁は完全に破損し、番子も疲労困憊ひろうこんぱいとなり、操業の続行はもはや不可能と判断しました。踏み数が1秒間に1回以上に増えてから、実に3時間もの長い時間が過ぎていました。

操業は午後11時27分に終了しました。操業時間は11時間39分で、砂鉄の総投入量188.5kg、木炭の総投入量655.6kgです。できた鉄は49kgでした。



<出来上がった鉄>

今回の操業は、幅90cm、長さ240cm、高さ120cmの大きな炉で、かつ踏みふいごという人力の送風装置でも、立派に砂鉄から鉄がつかれることを証明しました。炉の状態から推測すると、平安時代においても、2日間もしくは3日間ほどの長い時間をかけて、操業を行っていた可能性が考えられます。まさに、近世けいせたたらたたらの一代(1回の操業のこと。鉤押しは三日三晩、銚押しは四日四晩行われる)は、平安時代まで遡るかもしれません。このことは、炉の規模や送風装置が異なるとは言え、平安時代の製鉄技術が1,000年もの間、脈々と受け継がれたことを物語っています。

今回、鉄づくりに参加していただいた300名を超える多くみなさまに深謝するとともに、2年後は、操業技術の検討をさらに加え、平安時代の製鉄技術に少しでも近付けるようがんばりたいと思います。今後とも、まほろんの「鉄づくり」をよろしくお願ひ致します。

古代の横笛、コンサート

3月19日(日)にドイツ在住の横笛奏者^{てんだとある}天田透さんをお招きして、当館ボランティアの会主催の「古代の横笛、コンサート」がエントランスホールで開かれました。当日は85名のみなさんが参加され、古代の音色と現代音楽とのアレンジを堪能されたようでした。

天田さんは、横笛やフルートを演奏しながら、日本古来の横笛についての研究をされています。まほろんには玉川村江平遺跡から年代がわかる^{もつかん}木簡(天平15年:743年)とともに見つかった横笛が収蔵されており、この横笛をもとに様々な研究がなされています。

第1部として、当館に収蔵されている玉川村江平遺跡の横笛についてのお話がありました。打楽器奏者の^{かいます なおき}貝増直樹さんが一緒になって、復元された横笛による^{そつきょう}即興曲「江平の風」の演奏が行われました。

昨年度のまほろん

平成17年度来館者数は30,446人

平成17年度も3万人を超える方々にまほろんへご来館いただきました。平成16年度は31,088人の方々にご来館いただいたわけですから、平成17年度は640人ほ

文化財研修案内

4～6月の研修

まほろばの里山を染めし桜花も^{らんまん}爛漫の季節となりました。平成18年度も魅力ある文化財研修を企画しております。ふるってご応募ください。

4月30日は、体験学習支援研修1「土器づくり」を行います。まほろんに収蔵されている縄文土器をモデルにした土器づくりで、土器を実際に観察し、土器の特徴や製作技法、文様のつけ方などを学びながら土器を作ります。

5月30日は、体験学習支援研修2「土器焼き」で、4月30日に作った土器を、まほろんの土器焼き場で^{あぶ}焼きます。炙りから焼成までの火加減などのノウハウを身に付けていただきますが、自分の作った土器が炎の中で焼かれる様子は感動ものです。焼いた土器は、そのまま持ち帰れます。

6月20日は、入門考古学講座I「福島の原始・古代」

まほろんからのお知らせ

GW特別体験メニュー (5/3～5/7)



今年のゴールデンウィークには、特別体験メニューとして、「火おこし体験」と「石臼できな粉をつくる体験」を実施する予定です。

是非、遊びに来てくださいね。

第2部では、横笛をバスフルートに持ち替えた天田さんと白河旭高等学校吹奏楽部のみなさんが一緒になって、映画音楽や校歌、童謡の演奏が行われました。吹奏楽部のみなさんもプロの演奏家との競演に大変感激されたようでした。



＜天田透さんの演奏＞

ど減少したことになります。ちょっと残念。

来館者数の内訳を見えますと、高校生以下の方々は全体の約40%を占め、50歳以上の方は28%を占めております。また、団体利用者は57%を占め、県内外の比率は県内者75%、県外者25%でした。

今年度も多くの方々のご来場をお待ちしております。



＜報告書作成デジタル原稿作成のようす＞

を行います。県内で発掘調査された考古資料を中心に、福島県内の原始・古代について学ぶ入門講座です。今回は、「信仰」をテーマとする内容を企画しております。原始信仰から仏教考古学まで豊かな内容の講座となりますので、どうぞお楽しみに。

ご利用案内

- 開館時間** 9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日** 月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は開館し、その翌日が休館、ただし夏休み期間中は開館)、国民の祝日の翌日(土曜日・日曜日にあたる場合は開館)
- 入館料** 無料(体験学習によっては、材料費が必要な場合もあります。)
- その他** 団体(20名以上)でご利用の場合は、事前にご予約ください。

今年度の行事予定

1 実技講座（毎月第3土曜日を中心に実施）

期 日	体 験 メ ニ ュ ー	体 験 内 容	募集締切	募集人数	対 象	材料費
4月29日(土)	つり針づくり	鹿の角をつかって昔のつり針をつくります。	4月21日	20名	小学5年生以上	200円
5月 6日(土)	土笛・土鈴づくり	粘土を使って笛や鈴をつくります。	4月28日	20名	小学生以上 (小学4年生 以下は 保護者の付き 添いが必要)	100円
6月 3日(土)	土笛・土鈴の野焼き	5月につくった土笛・土鈴の野焼きをします。	—	—		—
6月17日(土)	火打ち金づくり	糸ノコの歯を使って火打ち金をつくります。	6月9日	20名		200円
7月 8日(土)	カラムシから布をつくろう①	カラムシを刈り取り、繊維を取り出します。	6月30日	15名		200円
7月22日(土)	カラムシから布をつくろう②	カラムシの繊維を紡いで糸をつくります。	—	—		—
7月29日(土)	土器づくり	小型の土器をつくります。	7月21日	20名		100円
8月 5日(土)	土偶・土面づくり	粘土を使って土偶や土面をつくります。	7月28日	20名		100円
8月19日(土)	土器・土偶・土面の野焼き	土器や土偶・土面の野焼きをします。	—	20名		—
9月 2日(土)	カラムシから布をつくろう③	8月に紡いだ糸でアンギン編みの布をつくります。	—	—		—
9月17日(日)	埴輪づくりその1	粘土を使って円筒埴輪をつくります。	9月8日	15名		100～200円
10月 1日(日)	埴輪づくりその2	粘土を使って形象埴輪をつくります。	9月22日	15名	100～200円	
10月21日(土)	埴輪を焼く	9月と10月に作った埴輪を焼きます。	—	—	—	
11月18日(土)	古代の染色にちようせん	自然素材を使った染色を行います。	11月10日	15名	1,500円	
12月 2日(土)	凧づくり	竹ヒゴと和紙を使って和凧をつくります。	11月25日	20名	200円	
1月13・14日(土・日)	土器づくり上級編	大型で文様の複雑な土器をつくります。	1月5日	10名	中学生以上	200円以上
1月27日(土)	古代のガラス技術にふれよう	ガラスの勾玉をつくります。	1月19日	15名	小学生以上	300円
2月10日(土)	まっ茶茶碗をつくろう①	ロクロを使って、茶碗の形をつくります。	2月2日	10名	中学生以上	500円
2月17日(土)	まっ茶茶碗をつくろう②	茶碗に釉をかけます。	—	—	—	
2月24日(土)	獣脚ろうそくづくり	石膏の型にろうを流してろうそくをつくります。	2月16日	15名	小学生以上	200円
3月10日(土)	土器の野焼き上級編	1月に作った土器の野焼きをします。	—	—	中学生以上	—
3月24日(土)	古銭づくり	石膏の型に金属を流して古銭をつくります。	3月16日	15名	小学生以上	500円

2 まほろんイベント（年8回第1日曜日を中心に実施）

期 日	イベント名	イベント内容	募集締切	募集人数	対 象	材料費
5月 5日(金)	昔話を聞こう	昔話を聞きます。	なし	—	どなたでも	無料
7月17日(月)	ボランティアイベント	5周年記念イベントで、様々な体験ができます。	なし	—		50円
9月10日(日)	史跡見学ツアーその1	いわき方面の史跡をめぐる予定です。	9月1日	20名		小学生以上
10月7・8日(土・日)	まほろんを描こう	まほろんの敷地内で絵を描きます。	なし	—	どなたでも	無料
11月11日(土)	第4回毬杖大会	昔の遊び「毬杖」のトーナメント戦を行います。	11月3日	20名		
12月 3日(日)	餅つき大会	竝杵と横杵で餅をつきます。	なし	—	小学生以上	50円
1月 7日(日)	第3回双六大会	昔の遊び「双六」のトーナメント戦を行います。	12月28日	20名	どなたでも	—
3月 4日(日)	史跡見学ツアーその2	まほろん周辺の史跡をめぐる予定です。	2月23日	20名	どなたでも	50円

3 まほろん森の塾（年8回 本年度の募集は締め切りました。）

期 日	内 容	募集人数	対 象	材料費
5月13日(土)～ 11月11日(土)	古代米の田植えと収穫、勾玉づくり、食器づくり、アクセサリーづくりなどを通して、「古代人体験」に挑戦します。	15名	小学5年生以上	2,000円

4 まほろん文化財講座(年2回、2、3月第3土曜日に実施)

期 日	講 座 名	講 師	募集締切	募集人数	対 象	入場料
2月17日(土)	第1回「私が掘ったあの遺跡－相双(縄文時代)－」	当館学芸員	先着順	60名	どなたでも	無料
3月17日(土)	第2回「私が掘ったあの遺跡－相双(奈良・平安時代)－」					

5 館長講演会(年6回第4土曜日を中心に実施、先着順、申込不要)

期 日	講 演 題	募集人数	対 象	入場料
4月22日(土)	シリーズ『考古学からみた日本列島の文化』第1回「日本列島の風土、旧石器文化」	60名	どなたでも	無料
5月27日(土)	シリーズ『考古学からみた日本列島の文化』第2回「縄文文化」			
6月24日(土)	シリーズ『考古学からみた日本列島の文化』第3回「弥生文化、古墳文化」			
10月28日(土)	シリーズ『考古学からみた日本列島の文化』第4回「古代の文化」			
11月25日(土)	シリーズ『考古学からみた日本列島の文化』第5回「中世の文化、近世の文化」			
12月16日(土)	シリーズ『考古学からみた日本列島の文化』第6回「北の文化、南の文化」			

※各行事への申し込みは、当館までがき、電話、FAX、電子メール、ホームページの申し込みフォーム等でご連絡いただくか、または、来館時に所定の申込書にご記入ください。(ご家族でも申し込みは可、まとめてでもかまいません。)